

笑顔

十六歳の私の生きがいは、周囲の人たちの笑顔です。毎朝校門に立って挨拶をしている校長先生の笑顔は、私を「今日も一日がんばろう」と、やる気にさせてくれます。何気ない会話をしている時の友達的笑顔は、キラキラとっていて楽しい気持ちになります。私の一日の出来事を嬉しそうに聞いている母的笑顔は、私をほっとさせてくれます。

このように「毎日笑顔に囲まれて生きている」ということは、当たり前ではなく、とても幸せなのだと思います。

「生きがい」という授業では、「天職」についても学びました。私にはハッキリした夢はまだありません。でも、「何か人の役に立つ仕事をした」と前から考えていたので、看護の道に進みたいと思っています。それが私の「天職」なのか分からないけれど、人を笑顔にすることができるのなら、私は幸せな仕事だと思います。そのために今、本当は苦手だけれど、文系ではなく理系に進み、努力したいです。そして、十年後の私が「この仕事は私の天職であり、生きがいだ」と言うことができたらいいなと思います。

(二年女子)

目標に向かう

私は以前、宗教の時間で「生きがい」について学ぶまで、「目標は大切」という言葉の意味を理解できていませんでした。よく耳にはするものの、いまいちはつきりとしませんでした。でも、そんな中、宗教の授業が私の意識を変えてくれました。目標や目的を決め、それに向かっていくことで、人生という道を迷わず進めると知りました。目標がないとゴールもない、ゴールがないとスタートもない。つまり、目標や夢を作ることが人生のスタートなのだ、と気付きました。

その宗教の時間から少し後、私には本当に叶えたい目標ができました。そして、その目標を大きく強い字で紙に書いて、部屋に貼りました。いつでも人生のスタートに立った時の、強く熱い思いを思い出せるようにです。

その目標はまだまだ遠く、先も見えないものですが、目標ができてからというものの、本当に行動が前向きになった気がします。「継続は力なり」を胸に、これからも私の生きがいと強く向き合っていきます。

(二年男子)